

## 2006.6.4 第 6 回公園づくりワークショップ アスレチック遊びと桜の手入れ報告



モンキーロープ渡り



薪割りに挑戦



滑車ロープ



桜の害虫カイガラムシを駆除

今回のメインテーマは、「この公園でどんなたのしいあそびができるかな？」と子どもの遊び場作りワーキンググループの提案を受けてつくる会として企画したものです。

子どもの遊び場作りワーキンググループには地元のボーイスカウトの方達が参加してくれており、今回の企画と一緒に練り上げてくれました。又、前日の草刈や予行演習などの準備作業から本番の遊びの安全管理まで全般にわたって本当に親身になって活躍していただきました。

ターザンロープ遊びや、木から木へのモンキーロープ渡り、ブランコ風の滑車ロープ等アスレチック的な遊びの広場が身近に出現し、子供達は大喜びでした。また、おやつに提供されたフランクフルトや大きな竹の棒にホットケーキの粉を練って巻きつけ、自分で焼いて食べたり、初めて体験した薪割り作業も慣れてくると上手に割れて嬉しそうでした。

平行して実施した、河津桜の観察や手入れにも

多くの方々が参加してくれ、ますます公園への愛着が膨らんだことと思います。また、D ゾーンの散策路(案)もたくさん提出していただきましたので今後の公園づくりの資料とさせていただきます。

開会式では、恩方中学校が生徒会を中心に話し合っただけで決めた「公園遊びのなかよしルール」を生徒会長さんが発表してくれて、参加者の賛同を得ました。

200 人の参加者を得て、とても楽しい思い出作りができたことと思います。今回の楽しい遊び場は、安全面から常設はできませんが、いろいろなイベントと組み合わせて今後の公園管理等のなかで活用されることを期待したいと思います。最後に、休日にもかかわらず地域住民と一緒に参加して下さった、八王子市の公園課・協働推進課のみなさんにも心より感謝します。

小田野中央公園をつくる会 副会長 塚原京史

## 公園づくりに地元ボーイスカウトも参加

つい先日までは倒木が散らばっていて気分の良くなかった空き地が、見違えるような公園に生まれ変わろうとしています。この公園をどう活用してゆか考えていただいた中で、地元の市民グループ、そしてボーイスカウトの知恵を借りようかと発想をしていただいて、今日の形が生まれるに至りました。現在はボーイスカウト八王子地区、第 10 団、第 13 団が公園づくりに参加しています。今回のワークショップでは、スカウトの子どもたちにとっては、日頃の限られたスカウト仲間だけでなく大勢の子どもたちと一緒に活動で

きた喜びがあったようです。

指導者の方々は一般の子どもたちとはチョット違う体験ができるノウハウを持っていながら広く子どもたちとの接点がなく体験していただく機会がありませんでしたので、今回の企画には喜んで参加させていただきました



ターザンロープを補助するスカウト指導者



た。写真はこの会場をお借りして新入生の入団セレモニーをしている風景です。連盟歌を歌っている風景です。

ますが新入の子は周りの人達に気をとられています。この子達もやがて隊長の言うことを姿勢を正して聞き、自立してキャンプや活動ができるスカウトに成長して行きます。今の時期にしか見られない微笑ましい風景の一つです。

来年も同様の企画でさらに前進した内容で活動が展開されると聞いております。指導者、スカウト共々参加させていただくのを楽しみにしています。

ボーイスカウト八王子第13団広報担当 松原治良

## 公園利用のルールを地元中学生が考えました「な・か・よ・し ルール」

恩方中学校生徒会、チャレンジ部、サッカー部、野球部、ソフトボール部が公園づくり活動に参加中 私達恩方中学校の生徒会役員は、今、小田野中央公園づくりに参加しています。

昨年12月には夕やけ小やけふれあいの里の木で作ったベンチに保護塗装をし、今年1月には、世田谷区の羽根木プレイパークでアスレチック体験、3月には公園の川沿いに河津桜の苗木を植えました。

12月のベンチの保護塗装ではチャレンジ部や、有志の生徒にも協力してもらいました。この時、生徒会役員で考えた「みんなで作ろう最高の公園」というスローガンを垂れ幕に書き、公園のフェンスに飾りました。この日はとても寒く、最後に地域の方々を作ってくれた豚汁が温かく、とてもおいしかったです。

1月に行った羽根木プレイパークは、子供達が廃材や古タイヤを使って秘密基地を作ったり、木に登ったり、自由気ままに遊ぶことができる公園です。小田野中央公園作りの参考にするために、遊具で遊んだりアスレチック体験をし、最後にバーベキューも楽しむことができました。

3月の桜の苗木植えは、チャレンジ部にも手伝って

もらいました。穴を掘ったり、木を運んだり、とても大変でしたが、4月にはとてもきれいな桜の花が咲きました。

また、公園のルールを作るため、サッカー部、野球部、ソフトボール部に協力してもらい、ボール遊びの実験をやり、近所の方々にみてもらいました。そして、みんなとの話し合いにより

「な・か・よ・し」というルールをつくりました。

な：仲良くゆずりあう。

か：カンやペットボトル等のゴミは持ち帰る。

よ：夜は遊ばない。

し：施設やその周りを大切に使う。

このルールは、生徒総会で発表し、認めてもらうことができました。近くの小学校にも回り、このルールを発表する予定です。今後も小田野中央公園を良くしていくため、生徒会役員が中心となり、みんなでがんばっていききたいと思います。

八王子市立恩方中学校 生徒会会長 金子健太郎



4月上旬の土曜日に野球部、ソフトボール部、サッカー部がボール遊び方法を検証。その場で結果を話し合い。



第6回ワークショップの開会式にて、なかよしルールを発表

## 子どもの思い出に残る公園づくりを

昨年、初めて公園づくりの話が来たとき、私は生徒会の生徒を集め、「公園づくり、やってみたい？」と相談しました。すると、全員一致で「やりたい!」。そんな気持ちに後押しされながら、われわれ教職員も協力してきました。

中学生がこの活動に参加する意義は大きいと思います。一つは、つながりが持てるからです。



恩中生は12月にベンチの塗装をしました。

中学生と地域の人たち、中学生と小学生たち、そのようなつながりは中学校にいただけでは生まれません。将来社会を支える子供達にとって、このつながりこそ最も大切なものになるでしょう。二つ目は、自信が付くからです。努力した結果が公園という形となって残るといのはすばらしい経験です。それが、いつまでも自信となって生きる力になると思います。恩中生は、これまでベンチの塗装をしたり、桜の植樹をしたりしてきました。「みんなが成人式を迎えたら、またこの桜の木の下に集まろう。そして、ベンチに座って思い出話をしよう。」私がそう言うと、生徒達はニコリと笑いました。地域に住む人たちが何世代にもわたって思い出を作れるような公園にしてほしいと思います。

恩方中学校 生徒会担当 教諭 馬場 誠

## 恩方中学校チャレンジ部生徒さんの公園づくり感想

今回もチャレンジ部は、小田野中央公園のボランティア活動に参加しました。新入部員も加わり、より多くの人達が参加しました。今回で、4回目の活動になりますが、途中から生徒会のメンバーも加わり、この活動がより活発になってきました。これまでに小田野中央公園では、芝はり、ベンチの塗装、河津桜の苗植え等を行ってきました。今回行った内容は、植えた河津桜についているカイガラムシ、蛾の幼虫等の害虫の駆除をメインに手作業で行いました。僕達は、今回の作業を通じて、生き物を育てていくことの大変さを学べた気がします。藤田 諭  
今回、活動をやって、桜の木につく害虫などを教わったりして、いろいろ勉強になりました。またこのような活動があれば参加したいです。

1年2組 渡辺 宗雅

今回、公園づくりに参加して公園を楽しく使えるようにしてくれている人達がいることを知りました。そしてその作業を体験し、自分も手伝いができることを知りました。

2年3組 土屋 紀翔

今回のボランティアはチャレンジ部に入って初めてなので少し緊張しました。まず、桜の木の害虫をとるなどの作業をしました。害虫を取るのは大変でした。このボランティアを通じて

桜の木を育てるのは大変だなと思いました。

1年4組 三浦 遊

小田野中央公園作りに初めて参加しました。始まる時は少し緊張したけど、担当の人々の説明どおりに草取りを一生懸命やっているうちに楽しくなりました。作業が終わると、フランクフルトとホットケーキが用意されていたので食べてみたら、作業後のフランクフルトは、一段とおいしかったです。また参加できたらやりたいです。

1年3組 大塚 智貴



八王子福祉園の方々と桜の根元の草取りをしました。また、カイガラムシなどの害虫がついていないかどうか、桜を丁寧にチェックしました。

## ワークショップ参加者の感想・意見

考えていた以上の大掛かりな遊び場に子ども達は大喜びでした。ターザンロープの両脇に安全ロープを張ったり、一つ一つの遊び場にボーイスカウトの方達が付き添ってくださったので、安全に遊ぶことができました。ぐるぐるパンやフランクフルトも大人気でしたが、これは、おまけということ。

今後こういうイベントを定期的で開催していくことになるかと思いますが、子を持つ親の立場としては、遊具の一つでも二つでも早い時期に常設していただきたいと思います。大人が企画したこういうイベントにはたくさん子どもたちが参加してくれますが、普段の公園には残念ながら子供達の姿を見ることはできません。公園にある遊具の周りに地域の子供達が自然と集まり楽しく遊ぶ。そして、その周りには地域の大人の方達が見守りながらのんびりと…。そんな光景を早く見たいと思います。がんばっていきましょうね！

子どもの遊び場づくりワーキンググループ 小山知子  
ワンパクゾーンにもベンチがあったらいいですね。

固定遊具もほしいが、時々でよいので今回のようなロープの遊具がほしい。

キャンプをしたい。マナー面で問題があるので、期間限定で。(毎月第一土曜日とか、夏だけなどルールを徹底する。)

今回は、ロープ遊びをしたり、おやつを焼いたり、普段ではできないことができて楽しかったです。本当はイベントのときだけでなく常時できるといいのですが...それは難しいですね。大人と子どもと一緒に参加できるイベントが定期的にあったらいいですね。ターザンロープは、うしろの木にぶつかりそうになり怖かった。立ちのりが面白かった。モンキーロープは、

ジャンプしながらのりと楽しかった。滑車は板にぶつかりそうなスリルがあった。



ぼくは竹にパンみたいなものをまいて焼くやつがおいしかったです。遊具はブランコみたいなやつがおもしろかったです。今度は秘密基地みたいなもので遊びたいです。

恩方第一小学校 5年 小山真  
私はターザンロープが一番おもしろかったです。長くずーとのっていたらさむくなりました。私は木のブランコがほしいです。

恩方第一小学校 3年 小山希美  
私は桜の手入れには参加していないのですが、子どもがアスレチックで遊んでいました。公園には危なくない遊具が必要だと思うのですが、モンキーロープの綱渡りは少し低くしていれば下は土だし危なくなく遊べるのではないかと思います。短い時間に感じてしまうくらい楽しい時間を過ごせたと思います。継続的にできるアスレチック施設の設置は難しいですか？

### 小田野中央公園をつくる会事務局だより

5月15日に行われたつくる会の本会議でH18年度事業計画が承認されました。今年度はトイレ、亀の日時計、手押しポンプ井戸などの設置、メタセコイヤの植樹、子どもの遊び場の実証、散策路案の検討などを計画しています。また、今年も元木小、恩方中が引き続き公園づくりに参加してくれます。河川沿い道路が拡がり散歩する人も増えましたが、ゴミ拾いをしてくれている人を見かけました。今後も地域の皆さんの力と知恵を原動力に公園づくりをすすめていきます。6、7月には公園沿いを流れる北浅川に今年も蛍が飛びました。

#### ワーキンググループに参加してくれる方を募集中

地域のみなさんで楽しく公園づくりをしませんか。みなさんのアイデアやお知恵をお待ちしています。参加を希望される方は、下記問い合わせ先にお気軽にお電話ください。

問合せ先  
八王子市まちなみ整備部公園課 担当 深沢、藤澤 電話 042-620-7270  
小田野中央公園をつくる会事務局(八王子福祉園内) 芝 敏子 電話 042-651-9410

#### 【小田野中央公園をつくる会】の構成

会長 船引 孝昭  
恩方地区町会自治会連合会  
小田野連合町会  
恩方地区住民協議会  
ゆうやけの里・地域福祉フォーラム  
八王子市  
まちなみ整備部 公園課  
市民活動推進部 協働推進課

